

最初の転機は、2年後に訪れる。

1986

その種は小さくとも、生命力に満ちていた。

1986

- ◆沼津市大岡にて株式会社シード創業
- ◆株式会社アドバンステック設立
- 株式会社ゴトー焼津店オープニングプロモーション
- OS市政100周年イベント企画
- 化粧品メーカーI社教育マニュアル開発



▲川崎BE プロモーション

1987

- 富士ゼロックスD.M.C赤坂本社ビルリニューアル<電通>
- 丸三証券「MACS」VI・プロモーション
- 日本航空「JAL WORLD WIDE MARKETING RALLY '88」<電通>



▲日本航空民営化謝恩披露パーティ

1988

- ◆株式会社エクシード設立
- 川崎BEオープニングプロモーション<電通・アド電通>
- 日本航空民営化謝恩披露パーティ「NEW JAL レセプション」<電通>
- サッポロジョイプラザライオン・沼津SBS学苑設計・施工



▲サッポロジョイプラザライオン

1989

- 国際アーバンインフラテック'89テーマゾーン展示企画・制作
- 海外リゾートショッピング施設開発基本構想
- メガネのバリ・ミキ横浜本店リニューアル工事<電通>



▲本社風景(1988年頃)

1990

- 北千住WIZ(のちにルミネ)プロモーション('91年度まで)<電通>
- ユニー・アピタ プロモーション('94年度まで)
- AZALEA プロモーション



▲国際アーバンインフラテック'89
テーマゾーン展示企画・制作

綺羅星のごとき巨大企業も多くがそうだったように、1986年10月のシードの誕生もごくささやかなものだった。沼津市のソフトウェア会社、日本エム・アイ・シー(株)のグループ会社として産声を上げたシードは、役員、社員総勢で10名に満たない規模で創業した。

走り始めたばかりでも企画集団としての意欲は十分。創業当初から膨大な数のイベント企画などと格闘しながら、1988年、さっそく最初の転機が訪れる。

この年は浜松メイワンのオープニングイベントからはじまる。

ここでの成功を踏みに、青田副社長が率いる制作チームは川崎BEのオープニングプロモーションをものにし、以降のSCプロモーション事業への先鞭をつける。一方青山副社長は「NEW JAL レセプション」を成功に導き、大規模イベントの総合プロデュース事業への扉を開いた。

そして西島社長は、サッポロビールへの粘り強いアプローチで、初の地方中小都市へのビアレストラン出店を決意させ、沼津駅前にサッポロジョイプラザライオンと沼津SBS学苑を誘致。後に数々の大型物件の獲得につながる商空間開発事

1991

- キミサワ御殿場246店設計・施工
- ディシラ教育マニュアル開発
- SEGA WORLD武生NATURELAND設計・施工



▲プランニングセンター

1992

- 港南台センターバースプロモーション('95年度まで)
- SEGA神楽坂店「GEOCE」設計・施工
- オーツービル竣工



▲集合写真

1993

- 桃成ビル竣工
- 燦々ぬまづ踊り制作・運営
- 資生堂新ブランドコンセプト開発



▲キミサワ御殿場246店

1994

- JR天王寺駅ビル「ステーションプラザてんのうじ」プロモーション('98年度まで)<JR西日本コミュニケーションズ>
- ハローズ熱海ビル竣工
- アユーラ教育マニュアル開発

▶港南台センターバース
プロモーション

1995

- ◆シード創業10周年
- ◆三島本社竣工
- ならファミリープロモーション
- バリ・ミキ富士宮店リニューアル工事
- JR和歌山駅ビル「VIVO和歌山」プロモーション('01年度まで)<JR西日本コミュニケーションズ>



◀三島本社竣工

業の最初の一歩を刻んだ。

いずれも「やったことがないこと」も「やれます」と応え、もがき苦しみながら手に入れた勝利であり、それぞれが各分野での成長の強固な礎となった。

SCプロモーション事業は、以降、北千住WIZ(のちにルミネ)、AZALEA、港南台センターバースへと続き、1994年度以降は関西でも展開されていく。また商空間開発は、1991年に最初の大型物件、キミサワ御殿場246店の設計・施工に結実。さらにセガ店舗開発では、1991年を皮切りに199

4年までに16店舗を手掛けることになる。

1988年に打ち立てた3つの柱となる事業分野を基軸に、化粧品ブランドの教育プログラム開発などを通じて企画力を鍛え続ける中、1995年には三島本社が完成。飛躍の準備が整う。そして、創業当初から紆余曲折ながらも進行してきたプロジェクトが、ようやく大輪の花を咲かせようとしていた。